

**公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部**  
 平成 29 年度第 1 回調査・研究部全体会議 通算第 1 回調査・研究部会  
 議事録

日時	平成 29 年 6 月 16 日 (金) 14:00~17:00		場所	地盤工学会会議室	
部長	西村 伸一 (岡山大学)	○	★理事	中野 正樹 (名古屋大学)	○
幹事長	松下 英次 (長野高専)	○	副幹事長	大竹 雄 (新潟大学)	○
前部長	山下 聡 (北見工業大学)	○			
研究・連携・情報委員会			幹事	三上 武子 (前田建設工業)	○
ワ幹事	荒木 功平 (山梨大学)	○	部員	鈴木 亮彦 (不動テトラ)	○
★部員	鈴木 健介 (鹿島建設)	○	★部員	高橋 直樹 (三井住友建設)	○
ワザハ	後藤 茂 (早稲田大学)	○	ワザハ	中澤 博志 (防災科研)	○
前部員	小林 一三 (鹿島建設)	×			
研究発表会委員会			幹事	肥後 陽介 (京都大学)	○
★ワ幹事	高野 大樹 (港空研)	○	部員	森河 由紀弘 (名古屋工業大学)	○
部員	山中 稔 (香川大学)	○	ワザハ	伊藤 和也 (東京都市大学)	○
前ワ幹事	今 広人 (ジャパンパイル)	×	前部員	小松 満 (岡山大学)	×
前ワザハ	平川 大貴 (中央大学)	○			

配付資料

資料番号	資料
資料-29-1.0	平成 29 年度 第 2 回 調査・研究部運営会議議事録 (案) (H29/1/16 開催)
資料-29-1.1	平成 29 年度 調査・研究部会および常設委員会構成案
資料-29-1.2	調査・研究部 平成 29 年度事業方針・計画、予算、年間スケジュール
資料-29-1.3	電子図書館のリニューアルについて・電子図書館制作業務委託契約書 (案)
資料-29-1.4	全国電子地盤図データ公開 (閲覧システム) の防災科学技術研究所ジオステーションへの移管について
資料-29-1.5	科学技術振興機構が運営する文献データベース収録についてのお願い
資料-29-1.6	次世代地盤改良技術に関する研究委員会構成
資料-29-1.7	横浜環状北線地盤変動監視委員会構成
資料-29-1.8	福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会 (略称: 廃炉地盤工学委員会) 構成
資料-29-1.9	平成 29 年度研究委員会競争的研究費の運用
資料-29-1.10	「横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究」平成 28 年度収支報告書案
資料-29-1.11	「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム」平成 28 年度収支報告書
資料-29-1.12	「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム」平成 29 年度業務計画書 (抜粋)
資料-29-1.13	地盤工学研究発表会開催困難時の対応要領 (案)
資料-29-1.14	第 52 回地盤工学研究発表会 (名古屋大会) 準備状況
資料-29-1.15	地盤工学会プレミアム会員制度 (終身会員制度) に関する細則
資料-29-1.16	第 53 回地盤工学研究発表会 (高松大会) 準備状況
資料-29-1.17	第 53 回地盤工学研究発表会実行委員会構成
資料-29-1.18	平成 29 年度 第 2 回理事会議事録 (案) (H29/5/19 開催)
別添資料-1	調査・研究部規定類

- I. 前回 (H29/1/16 開催) 調査・研究部会運営会議議事録の確認 (資料-29-1.0, pp.1-5)  
・各自確認することとなった。

II. 全体関係

[報告事項]

1. 調査・研究部会、常設委員会構成の確認 (資料-29-1.1, p.6)  
2. 調査・研究部規定類 (別添資料)  
3. 調査・研究部 H29 年度事業計画、予算、年間スケジュール (資料-29-1.2, pp.7-10)  
・各自確認することとなった。

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

4. 情報関係 (資料-29-1.3, pp.11-17)  
1) 電子図書室のリニューアル  
これまでの経緯とレイアウトの確認  
・電子図書室のリニューアルの経緯、業務委託契約書案が提示された。

[報告事項]

5. 研究委員会関係 (資料-29-1.4, pp.18-20)  
1) 全国電子地盤図データ公開 (閲覧システム) の防災科学技術研究所ジオステーションへの移管について  
H30 年度から防災科研に移管予定。H29 年度は地域地盤環境研究所で運用。書面の締結あり (総務部対応)  
・上記について報告があった。  
2) 社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会の委員会報告の学会誌の特集号への掲載  
時期: 2018 年後半 (11 月号?) あるいは 2019 年早々  
・上記について報告があった。  
3) 科学技術振興機構が運営する文献 DB への収録依頼 (資料-29-1.5, pp.21-23)  
地盤工学シンポジウム論文集の書誌情報および抄録の収録依頼があった。本文は含まれないため許諾することとした。  
・上記について報告があった。  
4) 委員会構成案 (資料-29-1.6, p.24)  
「次世代地盤改良技術に関する研究委員会」(メール審議済み)  
・メール審議済みであり、各自資料を確認することとなった。  
5) 委員の追加、交代 (メール審議済み) (資料-29-1.7, p.25)  
「横浜環状北線地盤変動監視委員会」  
・委員交代  
松田 宗純 委員 (横浜市) →大西 順一 氏 (同左)  
田村 敬一 委員 (土木研究所) →並河 良治 氏 (同左)  
「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会 (略称: 廃炉地盤工学委員会)」 (資料-29-1.8, pp.26-27)  
・委員追加  
竹原 和夫 氏 (JIP テクノサイエンス (株))  
山本 彰 氏 ((株) 大林組 技術研究所 副所長)  
・委員交代  
中野 勝志 委員 ((株) アサノ大成基礎エンジニアリング) →田岸 宏孝 氏 (同左)  
「次世代地盤改良技術に関する研究委員会」

- ・委員追加

打木 弘一 氏 (基礎地盤コンサルタンツ (株))

- ・メール審議済みであり、各自資料を確認することとなった。

一委員会の委員交代については、部の審議事項となっているが基本的にはメール審議で行っている。

#### 6) 研究委員会 H29 年度年間活動計画および予算案

(資料-29-1.9, pp.28-31)

- ・上記について報告があった。

#### 7) H28 年度終了委員会成果報告

- ・「全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究委員会」(活動期間：H26-28 年度)

名古屋大会 DS 開催予定、シンポジウム開催予定 (ATC10(Urban Geo-informatics)国内委員会主催)、報告書作成予定 (シンポで配布)

- ・「断層問題に関する理工学合同委員会」(地盤工学会、日本地震工学会、日本応用地質学会合同委員会)(活動期間：H26-28 年度)

岡山大会 DS 開催、単行本「活断層が分かる本」出版 (発行所：技報堂出版(株))

- ・上記について報告があった。

#### 8) 「横浜環状北線地盤変動監視委員会」(「横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究」)

(資料-29-1.10, p.32)

- ・H28 年度：当初は、H28 年 12 月 9 日から H29 年 6 月 30 日までの履行期間だったが、追加業務 (首都高内部資料としての、技術資料作成業務) が発生したため、H29 年 10 月末まで、延長されることになった。受託額は、9,889,560 円→12,324,960 円に変更予定。(6/23 契約予定)

- ・上記について報告があった。

#### 9) 「廃炉地盤工学委員会」

- ・「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム」H28 年度予算執行報告

(資料-29-1.11, p.33)

- ・「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム」H29 年度業務計画書抜粋 (受託予定額 57,592,710 円、内地盤工学会 19,278,301 円)

(資料-29-1.12, pp.34-41)

- ・上記について報告があった。

#### 6. シンポジウム関係

##### 1) 第 12 回環境地盤工学シンポジウム (H29.9.25-26、長崎大学) 準備状況報告

採択論文数： 102 編

- ・上記について報告があった。

一各年開催となるため次年度は地盤工学シンポジウム (委員会報告) が開催される。

一委員会報告を行ってもらうため、各委員会に事前に打診を行っておく必要がある。

#### IV. 研究発表会委員会

[審議事項]

##### 7. 地盤工学研究発表会開催困難時の対応要領 (案)

(資料-29-1.13, pp.42-43)

- ・開催困難時の対応要領 (案) が提示された。

一大会が途中で中止になった場合、優秀論文発表者賞の審査・表彰をどのように対応するべきか。

一審査が行われたところまでを審査・表彰の対象とする。

一事前に開催中止が決定された場合の対応として、「参加料の返金を行わない」対応には問題があるのではないか。

一特に展示については、必要経費を差し引いて、残りを返金するのが普通ではないか。

一記載内容としては、「参加料の返金は行えない場合があります」とする。

- ・修正版の文案についてメール審議を行い、7 月の理事会に諮るよう議論を進める。

##### 8. 第 53 回地盤工学研究発表会 (高松大会)

#### 「展望」講師の選出

- ・高松大会については、名古屋大会と同様に、中堅（理事クラス）の研究者に講演を依頼することとする。
- ・今後の「展望」のあり方については、継続審議とする。
- －S&F の Best Paper の方に依頼するのはどうか。
- －セッション数、DS 数の増加もあり、「廃止」する案もあるのではないか。
- －関東支部から独自のアイデアが出される可能性が高いので、事前に調整が必要である。
- ・高校生セッションの実施の可否について議論をしておく必要がある。
- －名古屋大会で高校生セッションの実施の可否を議論した経緯がある。（会長からの審議依頼を受けて）
- －SSH に選ばれている高校に DS やポスターセッションを行うことができるのではないか。
- －高松大会で実施となると、教育委員会や高校生生徒との調整が必要となり、時間的な制約から難しいと考えられる。
- －東京などの主要都市であれば可能であるが、地方では実施が難しいのではないか。
  - 地方に全てをゆだねるのではなく、全国の高校へ依頼をかけるなどの対応が必要である。
  - 高校生には無料で参加できるような仕組みを考えることもできるのではないか。
- －高校生セッションについては、引続き継続審議とする。

#### 【報告事項】

#### 9. 第 52 回地盤工学研究発表会（名古屋大会）準備状況報告 (資料-29-1.14, pp.44-47)

「展望」講師の旅費および謝礼は支払わない（ご本人承諾済み）

プレミアム会員の交流会参加費 (資料-29-1.15, pp.48-49)

支部主催委員会の発表申込料の支払い

DVD 作成枚数：2050 枚（第 51 回大会：2000 枚）

事前参加申込者数（5 月末日締切）

一般会員：411 名、学生会員：22 名、非会員（一般）：26 名、非会員（学生）：4 名

（第 51 回大会：一般会員：270 名、学生会員：26 名、非会員（一般）：18 名、非会員（学生）：3 名）

・資料に基づき準備状況の報告が行われた。

・実行委員会が事前に高額な物品を購入する際に本部に立替えをお願いする際のルールを明確化することを提案したい。

－実行委員会で会計担当を決定し、会計担当が本部とやり取りをすることを基本とする。

→本部としては、1 名でも複数名でも構わないが、実行委員会で認められた方とやり取りができれば特に問題はない。

・岡山大会において、プレミアム会員の交流会参加費を半額にした経緯があるが、名古屋大会以降は認めない方針とする。

・支部主催委員会に関連して支部から発表申込料の支払いの依頼があった件について

－一人で支払いをしてもらうことが原則となる。

－本部支部連絡協議会で伝えることとする。

#### 10. 第 53 回地盤工学研究発表会（高松大会）準備状況報告 (資料-29-1.16, pp.50-51)

「第 53 回地盤工学研究発表会実行委員会」構成案（メール審議済み） (資料-29-1.17, p.52)

「第 53 回地盤工学研究発表会実行委員会」委員交代（メール審議済み）

尾崎 美伸 委員（日建連） → 山本 貴弘 氏（同左）※非会員

・資料に基づき準備状況（開催施設、会場（数、面積など））について報告が行われた。

－14 会場、予備 3 会場を確保している。

－名古屋大会と同様に、セッション間時間 20 分、各部屋における受付の省略、を行う予定である。

#### 【その他】

##### 1 1. 5 月理事会報告 (資料-29-1.18, pp.53-57)

##### 1 2. 理事会（平成 29 年 7 月 28 日（金））開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項] 地盤工学研究発表会開催困難時の対応要領（案）

[審議事項]

[報告事項]

##### 1 3. 総務部会（平成 29 年 7 月 14 日（金）開催予定）への提案事項

##### 1 4. 次回以降の部会・運営会議開催日

・29 年度第 2 回調査・研究部会 : 平成 29 年 月 日 ( ) 時～

・29年度第3回調査・研究部会 :平成29年 月 日( ) 時～

★ 平成29年度 理事会 開催日程(予定含む)

① 4月21日(金) ※書面審議

② 5月19日(金)

★ 6月9日(金) 総会/理事会

③ 6月16日(金) ※書面審議

④ 7月28日(金)

⑤ 9月29日(金)

⑥ 10月27日(金) ※書面審議

⑦ 11月24日(金)

⑧ 12月22日(金) ※書面審議

⑨ 1月26日(金)

⑩ 2月23日(金) ※書面審議

⑪ 3月16日(金)

-----  
⑫ 4月20日(金) ※書面審議

⑬ 5月18日(金)

★ 6月6日(水) 総会/理事会